

長宗我部元親略年表

年号表記	西 曆	年 齢	事 項
天文 八	一五三九	一	土佐国長岡郡岡豊城にて誕生。父長宗我部国親。
永禄 三	一五六〇	二二	五月長浜戸の本の戦いで初陣。父国親病死。
一	一五六八	三〇	本山氏を降服させ、土佐中央部を勢力圏とする。
一二	一五六九	三一	七月安芸氏をいわゆる「矢流崩」で破り、滅亡に追い込む。
天正 二	一五七四	三六	公家大名一条兼定を追放。
三	一五七五	三七	渡川の戦いで一条兼定を撃退。七月土佐東端の野根氏を降し、土佐統一。一〇月明智光秀の仲介によって長男信親、織田信長から一字「信」を拝領。四男盛親誕生。
四	一五七六	三八	島津氏との交流開始。
六	一五七八	四〇	九月阿波日和佐氏との同盟関係を固める。
七	一五七九	四一	次男親和を讃岐香川信景の娘婿とする。有力家臣久武親信、伊予宇和郡で戦死。
九	一五八一	四三	七月伊予金子氏と同盟。
一〇	一五八二	四四	五月織田信長、三男信孝を指揮官とする長宗我部攻撃を計画。六月本能寺の変で信長死去。八月阿波中富川の戦いで十河勢を破る。九月阿波勝瑞城の十河勢を讃岐に退去させる。
一一	一五八三	四五	賤ヶ岳の戦いに際して織田信孝・柴田勝家と連携。六月讃岐十河城を攻略。この頃、岡豊から大高坂への本拠地移転を開始。
一二	一五八四	四六	小牧・長久手の戦いに際して織田信雄・徳川家康と同盟。九月伊予深田城を攻略し、稲薙も敢行。
一三	一五八五	四七	六月羽柴（豊臣）秀吉が本格的長宗我部攻撃を開始、阿波に羽柴秀長・羽柴秀次ら、讃岐に宇喜多秀家・蜂須賀正勝・黒田孝高ら、伊予に小早川隆景・吉川元長ら上陸。四国を制覇していたが（阿波土佐泊城・讃岐虎丸城・伊予湯築城は攻略できず）、八月秀吉に降伏。伊予など他国の盟友や一族を土佐に保護。
一四	一五八六	四八	八月島津氏に大船を進上。一二月豊後戸次川の戦いで長男信親戦死。
一五	一五八七	四九	惣国検地を開始（この検地をもとに『長宗我部地検帳』作成）。
一六	一五八八	五〇	正月従五位下に任じられる。四月侍従に任じられる。四月後陽成天皇の聚楽第行幸に供奉。
一八	一五九〇	五二	小田原攻めに参加。
一九	一五九一	五三	この頃、大高坂から浦戸への本拠地移転を開始。
文禄 元	一五九二	五四	文禄の役で朝鮮に渡海。
三	一五九四	五六	知行宛行権を四男盛親に移譲。
慶長 元	一五九六	五八	サン＝フェリペ号、浦戸へ漂着。
二	一五九七	五九	三月『長宗我部氏掟書』完成。慶長の役で朝鮮に渡海。一〇月泗川倭城の普請にあたる。
三	一五九八	六〇	一月蔚山の戦いに参加。五月頃帰国。
四	一五九九	六一	五月伏見邸にて病死。正五位を追贈される。
五	一六〇〇		九月盛親、関ヶ原合戦に西軍として参加し、敗走。一二月頃浦戸一揆発生により、長宗我部氏改易。
元和 元	一六一五		五月盛親、大坂夏の陣に豊臣方として参加し、敗走。五月盛親、京都六条河原で斬首。長宗我部氏滅亡。